

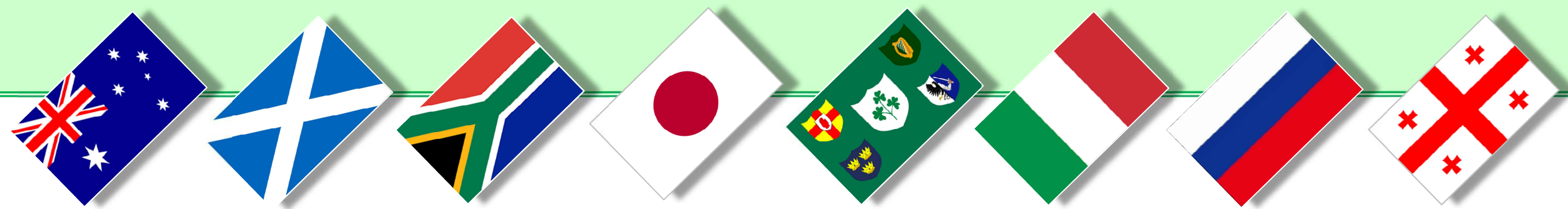
# 平成31年度主要事業説明資料

## “多様性”を強みとするまち (P1)



### 【主要プロジェクト】

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| 1 教育の充実                    | (P3)  |
| 2 子ども・子育て支援事業              | (P4)  |
| 3 ラグビーワールドカップを活かしたレガシー創出事業 | (P5)  |
| 4 健康寿命の延伸                  | (P6)  |
| 5 総合体育館整備及び運営事業            | (P7)  |
| 6 多文化共生の推進                 | (P8)  |
| 7 コミュニティセンターを拠点としたまちづくり事業  | (P9)  |
| 8 ICTを活かしたまちづくり事業          | (P10) |
| 9 産業経済懇話会の意見を反映した産業振興      | (P11) |
| 10 袋井駅南まちづくり事業             | (P12) |
| 11 空き家対策事業                 | (P13) |
| 12 袋井消防庁舎・防災センター整備事業       | (P14) |



# 平成31年度 主要事業（重点施策別）

●新規事業  
●拡充事業

## 1 「ラグビーワールドカップ2019」を活かしたまちづくり

### ●大会の機運醸成事業

【新】2019年ラグビー“キック”チャレンジ事業

【新】2019年ラグビー“トライ”チャレンジ事業

### ●「おもてなしゾーン」運営支援事業

### ●袋井産農産物販路拡大事業

大型イベント時の農産物販促 など

### ●ふくろい版ホームステイの実施

### ●愛野駅周辺店舗等地域活性化事業

愛野駅周辺店舗等の地域活性化事業

### ●世界に向けた魅力発信事業

【新】スーベニアフォトブック（電子版含む）

### ●ラグビーワールドカップ小中学生観戦奨励事業

県主催事業に関連し、児童・生徒の安全対策など

### ●Wi-Fi環境の充実

Wi-Fiスポットの設置

### ●キャッシュレス環境整備の促進

クレジット決済等への導入支援

### ●多言語案内表示看板の整備事業

### ●愛野メモリアルロードの整備



## 2 「質の高い教育」の実施

### ●幼小中一貫教育の推進

中学校区ごとの経営計画作成、運営体制の整備

幼小中一貫教育の実施に向けた保護者等への情報提供

### ●小学校学力向上対策事業

【新】全小学校3年生～5年生対象「漢字検定」・「算数検定」を実施

### ●英語教育の推進

「英検チャレンジ」「イングリッシュ・ディキャンプ」

### ●ICTを活用した教育の推進

学習ソフト等を活用した新しい学びのスタイルの検証、タブレット型端末の導入

### ●児童生徒と向き合うための人員支援の充実

「特別支援学級等支援員」「外国人児童生徒サポーター」

「【新】スクールサポートスタッフ」など

### ●地域と連携した教育の推進

「しずおか寺子屋創出事業」など

### ●（仮称）袋井南認定こども園の整備

2022年4月の開園に向けた準備

### ●上田町グランド機能移転整備の推進

### ●放課後児童クラブの担い手充実

支援員の確保、質の向上

### ●安心・安全・快適な教育環境整備

幼小中学校エアコン整備、トイレの洋式化、浅羽中学校の大規模改修



## 3 多様性を活かしたまちづくり

### ●まちの国際化の推進

市民の英語力向上、外国人との交流事業

【新】外国籍職員の採用

### ●多文化共生のまちづくり

多文化共生講演会、生活オリエンテーション動画の作成

外国人市民との意見交換会 など

### ●ふくろい版ホームステイの実施【再掲】

### ●外国人児童生徒への支援

外国人児童生徒サポーターの充実【再掲】

外国人園児への早期支援 など

### ●多言語案内表示看板の整備事業【再掲】

### ●手話言語の啓発

### ●ワーク・ライフ・バランスの推進

### ●多様性を活力とするまちづくり

若者・高齢者・障がい者・外国人市民など、様々な方々との  
地域での意見交換

## 4 ICT活用によるまちづくり

### ●ICTを活用したまちづくり

【新】AIを活用した住民対話型問い合わせサービス

【新】IoTによる地域見守りシステムの実証実験

### ●Wi-Fi環境の充実【再掲】

Wi-Fiスポットの設置

### ●RPAシステムの導入

事務作業自動化に向けた導入

### ●「エコパドリームプロジェクト」の推進

自動運転等実証実験

### ●ICTを活用した教育の推進【再掲】

学習ソフト等を活用した新しい学びのスタイルの検証

タブレット型端末の導入

※同一事業が複数の施策において掲載されている場合があります。

## 5 市内産業の活性化

### ●エコパドリームプロジェクトの推進【再掲】

自動運転等実証実験

### ●キャッシュレス環境整備の促進【再掲】

クレジット決済等への導入支援

### ●就労環境の充実

合同企業説明会、地元企業見学バスツアーの開催

【新】「地方創生移住支援事業」

### ●「ふくろいTaskAruネットワーク」

マッチング効果検証

### ●農産物販路拡大事業【再掲】

大型イベント時の農産物販促 など

### ●観光振興

遠州三山の季節と連動したイベント開催

遠州三山・駅周辺のライトアップ

### ●農業振興

【新】新規就農者・担い手育成支援

経営基盤強化に向けた法人化支援

# 平成31年度 施政方針

～”多様性”を強みとするまち～

## 【重要施策】

- 1 「ラグビーワールドカップ2019」を活かしたまちづくり
- 2 「質の高い教育」の実施
- 3 多様性を活かしたまちづくり
- 4 ICT活用によるまちづくり
- 5 市内産業の活性化

## 【市政運営の基本方針】

国籍や固定観念にとらわれず、市民同士が柔軟な姿勢で互いの良いところを受け入れること、異なる分野がICTなどを積極的に取り入れ融合すること、多様化する社会を自らの力で生き抜く人材を育成することは、人やまちの成長において大きな力となります。こうしたことから、「“多様性”を強みとするまち」を目指し、市民の皆様をはじめ、地域、市民団体、企業、大学などと連携し取り組みます。

●新規事業

●拡充事業

## 【分野別重点取組】

### 【教育・子育て】子どもが輝く 人づくり

- 幼小中一貫教育の推進  
中学校区ごとの経営計画作成、運営体制の整備  
幼小中一貫教育の実施に向けた保護者等への情報提供
- 小学校学力向上対策事業  
【新】全小学校3年生～5年生対象「漢字検定」・「算数検定」を実施
- 英語教育の推進  
「英検チャレンジ」「イングリッシュ・ディキャンプ」
- ICTを活かした教育の推進  
学習ソフト等を活用した新しい学びのスタイルの検証  
タブレット型端末の導入
- 児童生徒と向き合うための人員支援の充実  
「特別支援学級等支援員」「外国人児童生徒サポーター」  
「【新】スクールサポートスタッフ」など
- 地域と連携した教育の推進  
「しずおか寺子屋創出事業」 など
- （仮称）袋井南認定こども園の整備  
2022年4月の開園に向けた準備
- 上田町グラウンド機能移転整備の推進
- 放課後児童クラブの担い手充実  
支援員の確保、質の向上
- 安心・安全・快適な教育環境整備  
幼小中学校エアコン整備、トイレの洋式化、浅羽中学校の大規模改修

### 【スポーツ・健康福祉】誰もが活躍できる 人づくり

- 大会の機運醸成事業  
【新】2019人ラグビー“キック”チャレンジ事業  
【新】2019人ラグビー“トライ”チャレンジ事業
- 「おもてなしゾーン」運営支援事業
- 愛野駅周辺店舗等地域活性化事業  
愛野駅周辺店舗等の地域活性化事業
- ふくろい版ホームステイの実施
- 2020東京オリンピック・パラリンピック事業  
アイルランド訪問、市民の機運醸成
- 総合体育館整備事業  
12月のプレオープンに向けた利活用の検討
- コミュニティセンターを拠点とした健康づくりの推進  
まちづくり協議会と連携した、出張保健センターの充実、地域の健康促進
- 企業の健康経営の支援  
「#2961ウオーク」を活用した企業の健康推進
- 「こころの健康」の推進  
ゲートキーパーの養成充実
- 妊産婦支援の充実  
産後ケア、産婦健康診査の助成、風しん予防接種の実施

### 【市民力・地域力】多様性を認め合う 地域社会づくり

- まちの国際化の推進  
市民の英語力向上、外国人との交流事業、【新】外国籍職員の採用
- 多文化共生のまちづくり  
多文化共生講演会、生活オリエンテーション動画の作成  
外国人市民との意見交換会 など
- コミュニティセンターを拠点とした地域づくり  
「特色ある地域づくり事業交付金」を活用した地域づくり  
【新】LINE@を活用した情報発信
- 袋井西コミュニティセンター整備事業  
建設工事・2020年度の開館に向けた準備
- 手話言語の啓発  
手話教室の開催
- ワーク・ライフ・バランスの推進  
意識啓発セミナーの実施
- 多様性を活力とするまちづくり  
若者・高齢者・障がい者・外国人市民など、様々な方々との  
地域での意見交換
- ICTを活用したまちづくり  
【新】AIを活用した住民対話型問い合わせサービス  
【新】IoTによる地域見守りシステムの実証実験

### 【産業振興】活力みなぎる 都市づくり

- 「エコパドリームプロジェクト」の推進  
自動運転等の実証実験
- 企業誘致  
【新】「土橋地区」工業用地開発に係る詳細調査、「小笠山山麓開発」
- キャッシュレス環境整備の促進  
クレジット決済等への導入支援
- 就労環境の充実  
合同企業説明会、地元企業見学バスツアーの開催  
【新】「地方創生移住支援事業」
- 「ふくろいTaskAruネットワーク」  
マッチング効果検証
- 市内商業の活性化  
個店セミナー・スタンプラリーの実施
- JR袋井駅北口市有地の活用促進  
どまんなか袋井まちづくり（株）の取組支援
- 観光振興事業  
遠州三山の季節と連動したイベント開催  
遠州三山・袋井駅前周辺等のライトアップ
- 農業振興事業  
【新】新規就農・担い手育成支援、経営基盤強化に向けた法人化支援

### 【都市基盤】未来を先取る 都市づくり

- 袋井駅南まちづくり事業  
袋井駅南都市拠点土地区画整理事業・メディカル地区・商業地区の事業推進
- 歩いて楽しいまちづくりの推進  
田端東遊水池公園、（仮称）田端自歩道1号線などの整備
- 空き家対策事業  
【新】「ふくろいすまいの相談センター」の設置
- 街路整備事業  
山梨中央通り線・袋井駅森線・諸井山の手線・田端宝野線
- 上水道事業・下水道事業の経営の安定化と施設整備の推進  
【新】「水道料金等懇話会」の設置
- 公共交通の維持  
児童送迎バスや停留所型デマンドタクシーの導入  
市民・交通事業者・行政が連携したスクラム型地域公共交通を目指した取組
- 一般家庭への新エネルギー機器の導入促進  
蓄電池などの導入促進による「スマートライフ」の推進  
【新】再生可能エネルギー発電設置に関する条例の制定
- ラグビーワールドカップ2019開催に向けた取組  
多言語案内表示看板の整備事業  
愛野メモリアルロードの整備  
Wi-Fiスポットの設置

### 【防災】安全と共生の都市づくり

- 大規模災害への対策  
建物の耐震化、家具固定、ブロック塀の撤去 など
- 外国人市民への防災啓発  
防災知識の啓発、【新】ハザードマップの多言語化
- 地域防災力の強化  
地域の実情に応じた防災訓練等の推進体制づくり  
若者世代や外国人市民など、全ての市民が参加する環境づくり
- 袋井幸浦の丘プロジェクトの推進  
地域の賑わいづくりの創出
- 原子力災害時広域避難計画の推進
- 袋井消防庁舎・袋井市防災センターの整備  
建設工事の推進、2020年4月の開署に向けた移転準備
- 災害時における停電対策・断水対策  
給水車の配備など
- 治水対策事業  
松橋川・油山川の河川改修、校庭貯留施設整備
- 洪水対策  
【新】ハザードマップの配布、説明会や講演会の開催

# 教育の充実

～総力をあげてわかる授業を行い、「確かな学力」を育成～

平成31年度予算額：1億2,700万円

## 現 状

### <学力の現状>

- H30全国学調全てで全国平均を下回る。（小中ともに）特にA問題（知識・理解）に課題がある。
- 家庭学習の時間が短い児童生徒の割合が多い。
- 予習・復習に取り組んでいる児童生徒が少ない。
- 長時間にわたり、テレビやビデオを見たり、ゲーム・インターネットをしている生徒の割合が高い。

### <児童生徒の現状>

- 不登校生徒が多い。
- 些細なことでの生徒間トラブルが多い。
- 外国人児童生徒が増加し、日本語指導を必要としている児童生徒が激増。
- 特別な支援を必要とする児童生徒数が増加している。



## 目 標

### <学力の目標>

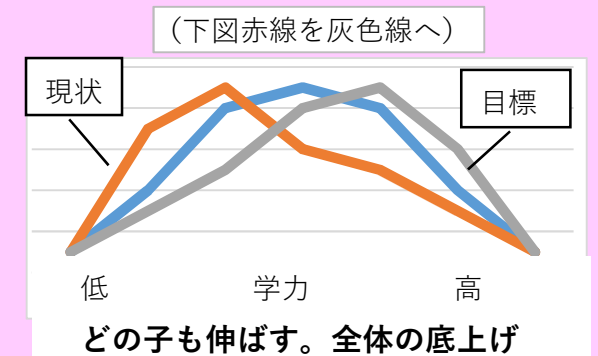
☆小・中全国学調において全項目で全国平均を上回る。

- 基礎学力の定着を「見える化」し、学びに向かう力を身に付ける。
- 思考ツールを活用していくことで、児童生徒の「考える力」を育てる。
- 進んで外国語を学び、外国語でコミュニケーションができる児童生徒を育てる。（中学校卒業時に3級程度の以上の生徒の割合をH32年度60%）

### <児童生徒の目標>

- 落ち着いた環境の中で学習することで「授業が分かる」と回答する児童生徒 小90% 中80%
- 学校が楽しいと答える生徒 90%

目標年度：2023年度



## 取 組 解決への7つの取組

### 児童生徒が実感できる学力向上

- 漢字検定の実施（小3～小5全員）  
語彙力の向上
- 算数検定の実施（小3～小5全員）  
計算力の向上
- 袋井版学力調査の実施（小5・中2）  
課題を把握し、改善に取り組む
- 学力向上ICTサポーター  
学力調査の課題に応じた学校への支援（ICT機器、教材）
- 家庭学習（自主学習）の改善  
自主学習で意欲の向上

学力の  
見える化

### 児童生徒に向き合う時間を確保するための支援の充実

- 市単独スクールサポートスタッフの配置  
給食・昼休みの児童生徒の見守り指導
- 特別支援教育支援員などの拡充  
支援を必要としている児童生徒へきめ細かな対応
  - ・特別支援教育支援員
  - ・学校健康安全支援員
  - ・不登校別室登校生徒支援
  - ・外国人児童生徒サポーター
  - ・図書館サポーター
  - ・小中一貫サポート事業
- ICT機器を使った通訳の実施  
通訳（外国人児童生徒サポーター）のいない時間での簡単な翻訳

### グローバル化に対応した英語力の向上

- 英語力向上支援事業「英検チャレンジ」の実施と合格対策  
希望する中学生の2次試験（スピーキング）への事前対策の実施  
参加者へ練習問題や無料アプリの紹介
- 使える英語を楽しく学ぶイングリッシュ・デイキャンプの実施  
授業で学んだ英語を教室外で使える場の設定
- 生きた英語を学ぶALT（外国人指導助手）の配置  
ALTから英語や異文化を学び、コミュニケーション能力の向上

### 学力を向上させる自己有用感を育む 魅力ある小中一貫校づくり

- 小中一貫サポーターの配置  
小中一貫教育を担当する中学教員の負担軽減
- 思考ツールを活用した小中一貫標準カリキュラムの実施

### 地域を巻き込んだ学力向上

- しずおか寺子屋創出事業の推進  
地域人材を活用した、放課後や休日、長期休業の学習指導
- 地域学校協働推進本部事業の充実  
地域と学校が相互に連携・協働する「地域学校協働活動」を  
地域の実情に応じた推進



### 良質な学習集団の形成

- 教育心理検査（Q-U）の実施  
心理検査を活用して魅力ある学級づくりの実施（小3から中3まで）
- ネットパトロールの実施  
いじめ・不登校の未然防止、情報モラルの指導

### ICTを活用したわかる授業の実践

- パソコン教室へのタブレット導入  
パソコン教室と教室・体育館でタブレットが使用可能  
児童生徒の情報活用能力の向上
- デジタル教科書の配備  
全小学校：理科（5・6年）、社会（5・6年）  
わかる授業の実施



# 平成31年度 子ども・子育て支援事業

予算額：25億2,300万円  
(うち資料掲載事業  
予算額 4億4,500万円)

～みんなで応援！安心子育て すこやか子育て～

## 認可保育施設の整備・開園支援、幼稚園の教育環境整備

【目的】待機児童の解消に向け、保育施設の定員を増やす。また、幼稚園の施設整備や外国人園児への園生活支援をすることで、幼児教育の充実を図る。

### 【事業内容】

#### 1 認可保育施設の定員拡大

- ・（仮称）袋井南認定こども園整備事業《3園を統合、平成34年（2022年）4月開園予定：定員280人予定》
- ・袋井駅南地区認可保育所（ルンビニあゆみ園）に係る給付費及び補助金の増《平成31年4月開園：定員120人》  
**予算額 125百万円** 給付費、延長保育事業費補助、建設資金償還補助等（うち、国費55百万円、県費31百万円、一般財源39百万円）
- ・小規模保育施設新設支援《1園を新設、平成32年（2021年）4月開園目標：定員12人程度》 **予算額 16百万円**

#### 2 幼稚園の教育環境整備

- ・公立幼稚園空調設備設置事業（H30～H31）《全14園保育室にエアコンを設置》 **予算額 145百万円**（うち、国費23百万円、市債114百万円、一般財源8百万円）  
（※H30年11月補正対応）

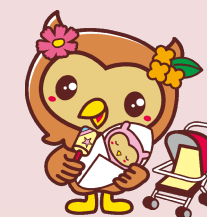
#### 3 幼稚園における外国人園児への支援

- ・公立幼稚園への入園を希望する幼児を対象に、入園前に日本語のあいさつや幼稚園生活を教えるなどの個別支援
- ・在園児を対象とした集団支援

外国人園児支援員1人増 **予算額2百万円**

#### 4 その他

- ・笠原こども園で一時預かり保育を開始（笠原こども園保育部において子どもを一時的に預かり、保護者の子育てを支援する。）



## 放課後児童クラブの運営における安定した受入体制の確保

【目的】子育て環境の充実のため、袋井市子ども・子育て支援事業計画に基づき、施設整備を進め、受入定員の拡充を図ってきた。

平成31年度からは、全小学校区において入所を希望する6年生までを対象に受け入れる環境が整ったことから、今後は、放課後児童支援員等の確保・育成に努め、保育の質を向上するとともに、安定した運営を目指す。

### 【事業内容】

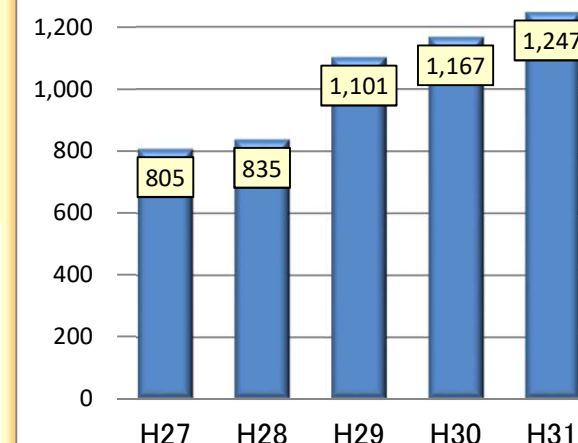
- ・放課後児童クラブの運営委託（20クラブ＋土曜日クラブ） **予算額 157百万円**  
（うち、国費52百万円、県費52百万円、一般財源53百万円）

1 全小学校区で6年生まで受け入れる体制とする。

2 袋井西小学校区に、2つのクラブを新設し、3つのクラブに再編する。



放課後児童クラブ定員数  
(子ども・子育て支援事業計画)



# ラグビーワールドカップ2019を活かしたレガシー創出事業

予算額： 6,820 万円（一部再掲あり）

## これまでの取り組み 〈大会に向けた市民機運の醸成、まちの国際化に向けた基礎固めなど〉

平成28年3月 ラグビーワールドカップ2019静岡県開催袋井市開催推進委員会の設立  
 平成29年6月 テストマッチinエコパ（日本代表VSアイルランド）の開催  
 平成29年11月 エコパでの日本代表戦を含む4試合の開催が決定  
 平成30年6月 2019人ラグビーパスリレー  
 平成30年9月 ミニラグビーゴールポストの設置（市役所芝生広場）  
 平成30年11月 ラグビーボール型巨大モニュメントの設置（JR愛野駅南口）  
 袋井市は、これまで小学生へのタグラグビー普及や市民がラグビーボールに触れる機会の提供を図るなど機運醸成に取り組んできた。また、世界中が注目する国際大会の地元開催を契機に、まちの国際化を図るべく、多くの市民が英語や外国文化に触れる機会の充実に努めるとともに、外国人を含む多くの観戦客の受入準備や、2019年本番に向けて、本市の魅力や資源の発信に関する試行に取り組んできた。

## 2019年度の取り組み 〈観戦客への「おもてなしの実践」、「市民の国際化」、「まちの活性化」〉

更なる大会機運の高まりを目指すとともに、JR愛野駅南口の「おもてなしゾーン」を核とした会場周辺のにぎわい創出や、市民と外国人観戦客との交流の促進に向けた「ふくろい版ホームステイ事業」の実施などに取り組む。併せて、市民の間に高まった国際的スポーツや外国文化等への関心を継続させ、東京オリンピック・パラリンピックを活かした市民生活や地域の活性化へとつなげていく。

- 1 スポーツの振興**  
（健康増進、競技スポーツへの関心の高まり、大会機運の醸成、ひとづくり）
- 2 国際理解・国際交流の推進**  
（外国人との交流、人材育成、外国文化の理解）
- 3 まちの快適空間の創出**  
（インバウンド観光の推進、シティプロモーション、ブランド力の向上など）

拡：拡充事業

新：新規事業

〈対戦カード〉 9/28 日本VSアイルランド 10/4 南アフリカVSイタリア 10/9 スコットランドVSロシア 10/11 オーストラリアVSジョージア

アイルランドチーム  
事前キャンプin袋井  
(7月上旬～8月上旬)

|                        |                                                                                 | 2019年度                                                                                               |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      | 2020年度                                                                |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|---|---|---|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|---|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|---|---|---|----------------------|---------------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
|                        |                                                                                 | 4                                                                                                    | 5                                                               | 6 | 7 | 8 | 9       | 10                                                                                                                                 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3                                                                                                                    | 4                                                                     | 5 | 6 | 7 | 8                    |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 静岡県及び<br>県推進委員会の取組み(案) |                                                                                 | チケット販売促進活動                                                                                           |                                                                 |   |   |   | 4<br>試合 | ファンゾーン（10日間：静岡市、浜松市）<br>・レガシー事業②（シンポ、式典など）<br>おもてなしゾーン（4日間：JR愛野駅南口）<br>・レガシー事業①（女子セブンス）<br>・ラグビー-TL開幕（1月～5月）<br>・タグラグビー交流大会（東・中・西） |    |    |   |   | 東京オリンピック<br>（7/24～8/9）<br><br>東京パラリンピック<br>8/25～9/6)                                                                 |                                                                       |   |   |   | 開催後の<br>レガシー         |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        |                                                                                 | ・6/12開催100日前イベント<br>・6/22～8/10 トップリーグ カップ戦<br>・5/19県ラグビーフェスティバル<br><br>ラグビー授業in小学校<br>・8/3テストマッチPV   |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 袋井市                    | 1 スポーツの振興                                                                       | 新 おもてなしゾーン運営支援事業【県推進委員会負担金】<br>（おもてなしゾーンの設置運営、愛野駅周辺地域の活性化推進など）<br>1,500 万円                           |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      | 愛野駅前地区の賑わい創出<br><br><br><br><br>オリンピックの招聘<br><br><br>ホストタウンプログラムによる交流 |   |   |   |                      | 市民の競技スポーツ<br>への関心の高まり                 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        |                                                                                 | 大会の機運醸成事業【県推進委員会負担金】<br>（100日前イベント、解説付きトップリーグ観戦体験、タグラグビー普及など）<br>250 万円                              |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        |                                                                                 | 拡 大会の機運醸成事業【市推進委員会委託事業】<br>（2019人キック&トライチャレンジ、地域活性化シンポジウム、市役所インフォメーションデスク、小中学校対戦国応援事業など）<br>1,100 万円 |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        |                                                                                 | 拡 愛野駅周辺店舗等の地域活性化事業【市推進委員会委託事業】<br>（対戦国文化体感会、Wi-Fi環境整備、愛野駅市オリジナルインフォメーションセンター、沿道装飾など）<br>400 万円       |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        |                                                                                 | 新 ラグビーワールドカップ小中学生観戦奨励事業<br>（児童生徒安全対策、付添ボランティアなど）<br>100 万円                                           |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        | 小計                                                                              |                                                                                                      | ラグビー普及啓発事業<br>（タグラグビー教室、ラグビー体験会など）<br>80 万円                     |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        | 3,430 万円                                                                        |                                                                                                      |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        | 2 国際理解・<br>国際交流の推進                                                              | 拡 ふくろい版ホームステイ推進事業<br>（ホームステイトライアル、受入家庭の募集、ホームステイ実施運営など）<br>450 万円                                    |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      | 継続的なホームステイの実施<br><br><br>ボランティアの養成                                    |   |   |   |                      | 対戦国との<br>継続的な交流<br><br><br>まち(市民)の国際化 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        |                                                                                 | 拡 ICTとSNSを活用した魅力発信事業<br>（スーベニアフォトブック(電子版含む)）<br>400 万円                                               |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        |                                                                                 | 子ども達の英語力の向上事業、成人対象英語講座の開催<br>（イングリッシュデイキャンプ、英検チャレンジ、成人講座など）<br>240 万円                                |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        |                                                                                 | 新 袋井国際芸術祭+ふじのくに野外芸術フェスタの開催<br>（静岡県舞台芸術センター／SPACによる野外演劇、異文化交流事業など）<br>70 万円                           |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        |                                                                                 | 小計                                                                                                   |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 1,160 万円               |                                                                                 |                                                                                                      |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 3 まちの<br>快適空間の創出       | 拡 愛野駅・エコパ間の景観改善事業<br>（メモリアルロードの彫刻5基の修繕、駅前メモリアルロード花壇管理事業、自由通路清掃など）<br>1,780 万円   |                                                                                                      |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   | 観光客へのおもてなし<br>（交流人口の拡大）<br><br> |                                                                       |   |   |   | インバウンド観光<br>の受入体制の推進 |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        | おもてなし観光推進事業<br>（愛野駅周辺マルチメディアインフォメーション活用事業、多言語版ルートマップ作成、多言語版観光パンフ作成など）<br>200 万円 |                                                                                                      |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        | まちの多言語案内表示看板整備事業<br>（2か国語対応式著名地点案内標識／歩行者用1箇所）<br>120 万円                         |                                                                                                      |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        | 新 袋井産農産物販路拡大事業<br>（本大会開催に併せた農産物の販促イベントの開催、観光メロンタクシー2台の追加整備など）<br>100 万円         |                                                                                                      |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        | 小計                                                                              |                                                                                                      | キャッシュレス環境整備促進事業<br>（袋井商工会議所補助金／市内商業店舗へのクレジット決済機能の普及促進）<br>30 万円 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|                        | 2,230 万円                                                                        |                                                                                                      |                                                                 |   |   |   |         |                                                                                                                                    |    |    |   |   |                                                                                                                      |                                                                       |   |   |   |                      |                                       |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

実現

ラグビー精神を活かしたひとづくり  
 まちのエネルギーの情報発信 国内外からの誘客の促進  
 国際感覚を持った人材の育成 豊かな市民生活の実現  
 東京オリ・パラへと続く市民のスポーツ活動の活性化

めざす姿

# 生活習慣病と介護予防により「市民がともに進める」健康寿命の延伸

第8回健康都市連合国際大会  
WHO表彰とAFHC表彰  
5部門受賞

新規予算額  
3,150万円

## 一次予防の推進

生活習慣病予防から介護予防（ロコモ・認知症）まで

健康づくりにつながる  
スポーツの推進

適度な身体活動と  
運動習慣の定着

適正な栄養・食生活の  
知識の普及と実践

適正な生活習慣の  
知識の普及と実践

出張保健センターによる地域の健康づくりの推進

ウォーキングの推進

・どまん中ふくろいウォーク・ウォーキングキャラバン・ノルディックウォーク

エアロビック・スローエアロビックの推進

家族や仲間と楽しむニュースポーツ等の推進  
・デカスポテニス・ファミリーバドミントン・グラウンドゴルフ・フーバ  
・ラジオ体操・親子スポーツ

食育推進事業

喫煙・飲酒の  
習慣や  
環境の改善

口腔ケアと  
歯科保健の  
推進

野菜いっぱい運動

野菜いっぱいマーク表示店の拡大  
(野菜いっぱいマークは、1食野菜120g  
以上のメニューを示すマーク)

健康塾・健康度測定

健康づくり講演会・研修会(生活習慣病予防・こころの健康など)

『日常ながら運動』の推進

出前健康教室(公会堂・事業所・団体・地域活動サークル)・おやこ保健室・みんなのよりみち保健室

子ども健康教育支援事業(食育、歯、小児生活習慣病、メディア、性、いのち、喫煙防止、こころ、運動)

認知症予防セミナー・楽笑教室・筋トレマシン運動教室、介護予防プログラム普及など

フッピー健康ポイント事業(生活習慣改善の動機付け・定着支援)

健康経営の推進(企業訪問・アプリの利用促進など)

定期的な  
健康チェック

健診・検診  
結果を  
踏まえて

健診・検診の実施

75歳以上

・後期高齢者の健康診査  
・各種がん検診

20歳以上  
75歳未満

(40歳以上)  
・特定健診の実施(国保)  
・各種がん検診  
・骨密度検診  
・歯周疾患検診  
・肝炎ウイルス検査  
(30歳以上)  
・乳がん検診  
(20歳以上)  
・子宮がん検診

母子

・①(新)産婦健康診査  
・妊婦健康診査  
・乳幼児健診・乳幼児相談

## 二次予防の推進

健康指導の実施

健康相談の実施

・特定保健指導の実施(国保・医療機関との連携)  
・受診勧奨者への指導(電話・面談・訪問)の実施(国保)  
・健康教育・健康相談の実施  
・生活習慣病予防事業  
◇健診結果による個別指導(国保)  
◇医療機関と連携した栄養相談  
・教室等でのチラシ配布による啓発

・②(新)産後ケア事業

・健康教育・健康相談の実施  
・子育て世代包括支援センター(妊娠期から子育て期までの継続した子育て支援)

予防接種の推進

定期

A類疾病: 結核(BCG)、日本脳炎、小児麻疹・風しん、  
③(新)成人用風しん  
B類疾病: 高齢者インフルエンザ、成人用肺炎球菌

任意

・④(新)成人用風しん(市独自事業)  
・高齢者肺炎球菌

連携推進

## 健康づくりをともに進める基盤づくり

スポーツ協会・スポーツ推進委員の充実

企業・事業所との連携

健康経営の推進  
事業との連携による働く世代への啓発  
商工会議所・商工会等との連携

地域との連携

- 健康運動サポーター 袋井市の健康運動活動を支える関係者  
ふくろい未来大使・市登録講師・健康運動ボランティア、お元気運動リーダー修了生、地域健康づくり指導者研修会 など
- 健康づくり推進員 地域それぞれの主体的な健康づくりの推進
- 健康づくり食生活推進協議会 地域における食生活改善推進  
健康づくり食生活推進員育成セミナーや推進協議会の活動充実

## 新規 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を充実！

### ①(新)産婦健康診査

産後うつ予防を図るため、出産後間もない時期の産婦に対する健康診査に係る費用を助成(対象者1人につき2回以内)する。

【産婦健康診査の内容】問診、診察、体重・血圧測定、尿検査、エシバ産後うつ病質問票(EPDS)

【対象者】産後2週間、産後1か月など、出産後間もない時期の産婦

### ②(新)産後ケア事業

母親の身体回復と心理的な安定を促進するため、家族等から十分な支援が受けられない、市内に住所を有する概ね生後4か月未満の乳児とその母親に対する産後ケアに係る費用を助成する。

【産後ケアの内容】母親の身体的ケア及び保健指導・栄養指導、母親の心理的ケア、育児の手法についての指導・相談ほか

【助成額】利用者世帯の課税状況に応じて要する費用の一部を助成(市民税非課税世帯等)

①宿泊型: 1日15,000円、②日帰り1日型: 7,000円、日帰り半日型: 3,500円、③訪問型: 4,000円

### ③(新)成人用風しんワクチン定期接種

先天性風しん症候群の発生を防止するとともに、2020年までに風しんの排除を達成するため、定期的予防接種として、抗体価の低い成人男性に風しん抗体検査と風しんワクチン又は麻しん風しん混合ワクチンの接種を実施する。

【対象者】1962年4月2日～1979年4月1日生(2019年4月1日現在39歳～56歳)の男性

【内容】抗体検査を行い、結果が陰性だった者に対して、風しんの予防接種を行う。

### ④(新)成人用風しんワクチン助成事業(市独自事業)

先天性風しん症候群の発生を防止するため、定期的予防接種以外の風しんワクチン又は麻しん風しん混合ワクチンの接種に要する費用の一部を助成する。

【対象者】①抗体価が低い妊娠を希望又は予定している女性、②抗体価が低い妊婦と同一世帯で抗体価が低い者

【助成額】風しんワクチン: 4,000円、麻しん風しん混合ワクチン: 5,000円

850万円

70万円

2,130万円

100万円

## 推進体制

国や県

健康づくり関係者  
各種団体

総合健康センター

聖隷袋井市民病院

健康づくり課

社会福祉協議会

地域包括ケア推進課

連携  
(健康づくりサポートチーム)

スポーツ推進課、  
市民課、  
しあわせ推進課、  
すこやか子ども課、  
学校教育課 等

<地域包括ケアシステムの推進>

- ◇総合相談支援事業
- ◇介護予防ケアマネジメント業務
- ◇包括的継続的マネジメント支援
- ◇コミュニティセンターとの連携
- ◇地域支え合い活動の推進
- ◇見守りネットワークなど地域のネットワークづくり
- ◇はいかいSOSネットワーク事業
- ◇認知症サポーター養成講座
- ◇介護支援ボランティア支援業務
- ◇介護家族の支援 ◇権利擁護 など

保健

健康チェック  
健康診断  
受診率向上  
がん対策推進  
生活習慣病予防  
健康相談  
健康教育  
運動指導

日常生活支援

配食サービス  
紙おむつ支給  
見守り・声かけ  
認知症サポーター  
外出支援・車イス貸与  
訪問理容サービス

福祉

福祉教育  
人権教育  
生活保護・措置  
社会福祉団体支援  
日常生活自立支援  
生活福祉資金貸付

総合健康センター  
(総合相談・介護ケア・介護予防)

地域包括  
ケアシステム  
イメージ図

地域包括  
支援センター

地域ケア会議の主催  
多職種連携促進  
ワンストップ拠点  
各機ネットワーク調整  
官/民の連携支援

地域連携  
クリティカルパス

早期退院・復帰

急性期病院

かかりつけ医

在宅支援

訪問診療(往診)  
訪問看護(看護士)  
訪問リハビリ  
通所リハビリ  
ターミナルケア

在宅復帰

薬局

緊急支援

救急医療情報キット  
緊急通報システム機器貸与  
災害時要援護者支援

警察 消防署

在宅

介護予防

出前講座  
認知症予防  
介護予防教室  
介護支援ボランティア

在宅サービス

訪問介護(ヘルパー)  
ショートステイ  
通所介護(デイ)  
住宅改修  
福祉用具レンタル  
訪問入浴

施設サービス

介護老人福祉施設  
介護老人保健施設  
グループホーム  
特定施設入所者介護

ケアマネジャー

サービス事業者

地域住民

地縁ネットワーク: 自治会、民生委員・児童委員、シニアクラブ、学校、消防団、  
自主防災隊、防犯パトロール、NPO、ふれあいいきいきサロン、  
健康づくり食生活推進協議会、健康づくり推進員

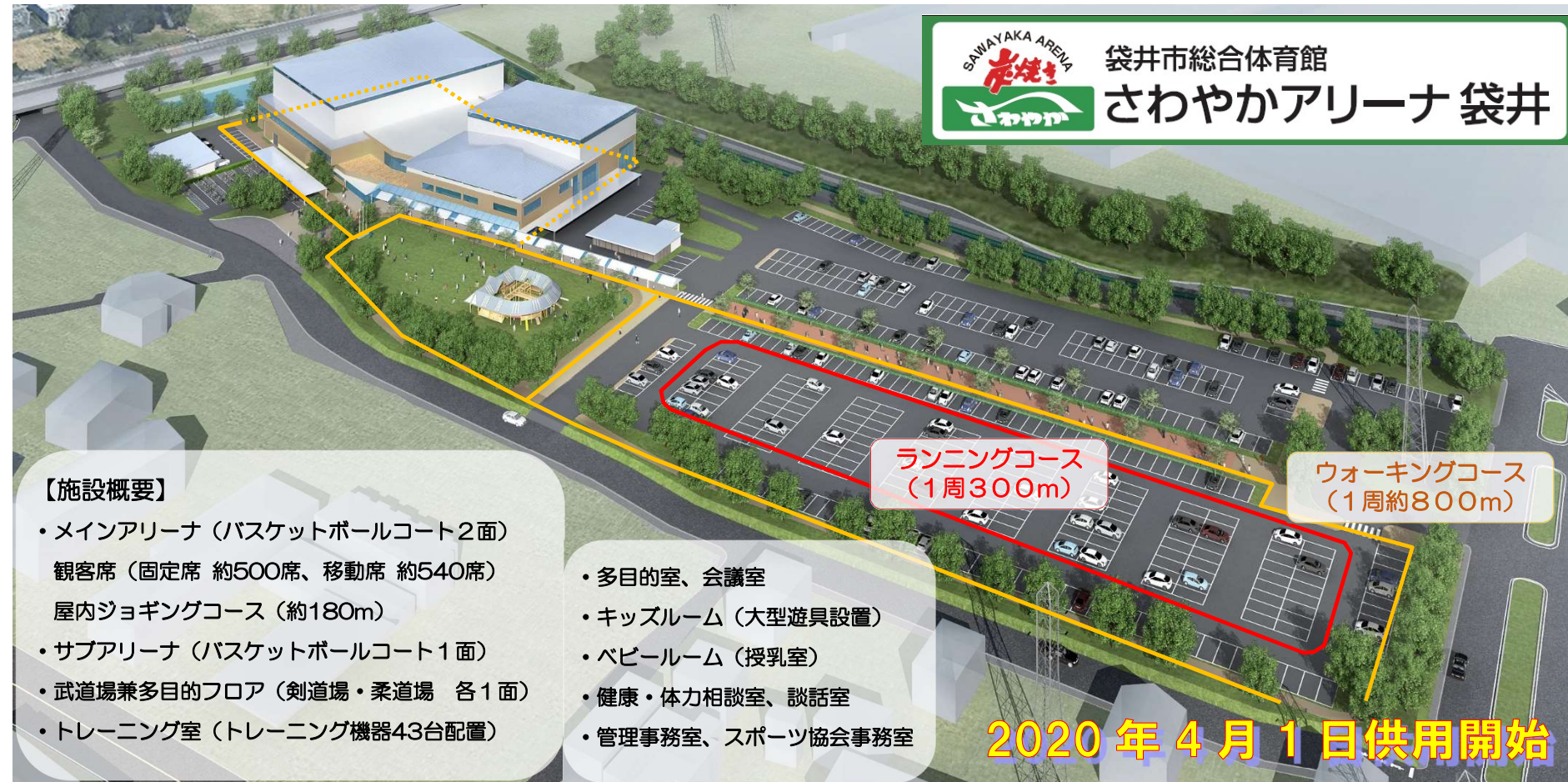
業界ネットワーク: コンビニ、新聞配達、金融機関、商店街、タクシー

## 【人生100年時代を見据えた仕組みづくり】

- 医療(退院)から在宅(介護)への切れ目のない橋渡し  
～かかりつけ医(家庭医)による往診や訪問診療、訪問看護、訪問リハビリなどの在宅療養の充実を図るための医療機関、訪問看護ステーション、介護支援専門員、介護サービス事業所などによる連携の推進～
- 地域住民への在宅医療・介護サービスの普及啓発  
～介護連携に関する市民向けシンポジウム開催～
- いきいきと自立した生活が送られるための取組み  
～地域の支え合い体制づくりの推進～、～高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進～
- 施設支援活動や在宅支援活動を行う介護支援ボランティアの育成～
- 介護分野へのICT化の推進  
～県補助事業制度活用推進による介護現場の負担軽減と職場環境の充実～

# 袋井市総合体育館整備及び運営事業

PFI事業者「袋井アリーナPFI株式会社(袋井市久能 1724-1)」 事業費:約61億4千万円(設計・建設費:約45億2千万円、維持管理・運営費(15年分):約16億2千万円)



予算額:19億2,830万円

PFI事業サービス購入料ほか委託料 18億5,630万円

周辺道路整備工事費 7,200万円



## 【屋外施設】

- 子ども広場 (木製屋根付き円環遊具設置)
- ウォーキングコース (1周約800m)
- ランニングコース (1週300m)
- 駐車場 (約450台)、駐輪場 (300台)

## 【主な防災機能】

- 耐震性貯水槽 (100t)
- マンホールトイレ (18基)、かまどベンチ (2台)
- 非常用発電設備 (72時間)
- 防災備蓄倉庫 (メインアリーナ内約120㎡)
- 太陽光発電設備 (10kw)



## 2019年12月プレオープン

施設の無料体験利用や内覧会の開催

その他こけら落とし大会や  
各種イベントを開催予定



トレーニングマシンの無料体験会の開催



大型屋内遊具のある  
キッズルームの無料開放

## 【全体スケジュール】

| 2017 (平成 29) 年度 | 2018 (平成 30) 年度        | 2019 (平成 31) 年度                                                                                                                 | 2020 年度～       |
|-----------------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 基本・実施設計         | 建設工事 (2018.4～2019.9)   | 開業準備 (2019.10～11)                                                                                                               |                |
| 設計・建設モニタリング     |                        | ★プレオープン (2019.12～2020.3)                                                                                                        |                |
|                 | 金融機関との直接協定締結           | <ul style="list-style-type: none"> <li>内覧会</li> <li>トレーニング室初回講習会</li> <li>教室体験会</li> <li>お試し利用</li> <li>こけら落としイベントなど</li> </ul> |                |
|                 |                        | 施設案内看板設計・設置工事                                                                                                                   |                |
|                 | 維持管理運営モニタリング (2019.4～) |                                                                                                                                 | ★供用開始 (2020.4) |
|                 | 周辺道路整備 (2017～)         |                                                                                                                                 | ● 記念式典         |
| ネーミングライツ        | パートナー決定 設置協議           | ● 外壁看板設置<br>愛称使用開始                                                                                                              |                |

※施設概要やスケジュール等は、実施設計時のものであり、今後、建設の協議の中で、変更となる場合があります。

一人ひとりの違いを認め合い だれもが暮らしやすく活力あるまちづくりに向け ともに考え行動する

# 多文化共生の推進

【多文化共生】国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。（2006年3月 総務省）

予算額  
7,340万円  
（一部再掲あり）

## 平成31年度 実施事業

### 外国人のための生活オリエンテーション動画作成【新規】5,800千円

日本の制度（税・保険・年金など）や地域のルール（ゴミ出し・自治会など）は、外国人にとって、母国にはない制度であり、理解が難しい。情報も多く、文字では読みにくい。→ 外国人の視点でまとめた動画を作成

- ・テーマごとに多言語化
- ・庁内窓口での視聴
- ・動画のネット配信（転入時や転入後の予習復習、さらには企業や学校での指導教材として活用可能）

### 多文化共生講演会【新規】200千円

外国人市民やルーツを持っている方が、母国の文化等を改めて確認し、母国に加えその文化等を備えている自分に誇りをもっていただくため、さらには、日本人市民に各国の文化の良いところを知ってもらい、外国人に対する見方・考え方を変えるきっかけとするための講演会を行う。

### ふくろい外国人会議【新規】

外国人市民の視点で、袋井市の魅力や課題について意見交換し、その意見を市政に反映させる。

### 企業との意見交換【新規】

外国人労働者を雇用している企業等との意見交換を行い、外国人雇用の現状と課題を把握し、必要な支援を行う。

### 多文化共生推進懇話会【継続】200千円

計画の進捗状況の確認や新たな取り組みの提案などを行っていただくために開催する。

### FUPPY教室【継続】200千円

外国人市民が、日本で住む上で必要な制度や言葉を学んでもらう講座を実施し、安心して日常生活を過ごすことができる環境づくり、さらには自立を推進する。また、参加者同士の交流を通して、お互いを支えあえるネットワーク・行政との協力体制の構築を促す。

### 地域日本語教室開催事業【継続】1,100千円

外国人市民が能力を発揮し、地域社会に参加していくためには、日本語の習得が少なからず必要となるため、継続的に日本語を学習する機会を提供する。

### 外国人相談窓口委託事業【継続】1,300千円

外国人市民が生活していく上で生じる多岐にわたる悩み事や相談に気軽に応じることがができる相談窓口を、外国人市民と密接な関係を築いている国際交流協会に設置する。

### ふくろい多文化共生のまち基盤づくり事業【拡充】4,100千円

入管法改正及び多文化共生のまちづくり計画のスタートに合わせて、防災講座の実施などの「外国人への防災対策」、日本語支援人材の発掘や子供の居場所づくりなどの「外国人の子ども支援」、異文化理解を積極的に体験する家庭の確保などの「異文化理解」に取り組む。

### 外国人児童生徒サポート(支援)事業【拡充】21,000千円

日本語指導のほか、外国人児童生徒への支援及び保護者の教育相談等に対応する。2019年度は、サポーターを増員するほか、外国人児童生徒への生活指導や日本語指導を充実するための翻訳用タブレットの購入や、初期支援教室への送迎を行う。

### 外国人支援員サポート事業【継続】6,800千円 ・ 外国人園児の早期支援・在園児への取り出し保育【新規】2,000千円

外国人在園児への支援を引き続き実施することに加え、生活習慣や言葉の違いなどによる園生活へのつまずきの軽減を図るため、公立幼稚園において、2020年の外国人入園児に対し、支援員による早期支援を行う。また、日本人園児との共生、日本の幼児教育への適応を図るため、外国人在園児の取り出し保育を実施する。

### 外国人正規職員の雇用【新規】

2019年4月から5年間を任期とする外国籍正規職員を雇用する。

### 通訳職員の雇用【継続】27,800千円

市役所窓口等において、外国人市民に対しても日本人市民と同じように行政情報や行政サービスを確実に提供するために、通訳・翻訳職員を配置する。

### （仮称）ふくろい多文化共生のまちづくり計画の周知及び各種団体への取組依頼【新規】200千円

2019年4月から施行（予定）の、（仮称）ふくろい多文化共生のまちづくり計画について周知を図るとともに、実施主体となる市民や各種団体などに多文化共生事業の取組を促す。

### メローなっとの多言語化の運用開始【新規】

警報や地震などの災害に関する内容について、3カ国語（日本語・英語・ポルトガル語）での配信を開始する。

### コミュニティセンター等への多文化共生事業の展開【新規】

まちづくりの基盤となる地域においても多文化共生の促進を図るため、コミュニティセンター等へ多文化共生事業を展開する。

### その他 2,700千円

- ・広報ふくろいほか各種印刷物の多言語化
- ・多言語音声翻訳ソフトの配置
- など

## 多文化共生の推進

- ・（仮称）ふくろい多文化共生のまちづくり計画のスタート（平成31年4月1日～）
- ・外国人市民への支援を実施するとともに、外国人市民を地域の貴重な人材と捉え、ともに発展していく地域づくりを目指す。

### 《実施主体》

「行政」だけでなく、外国人市民にとっても身近な自治会などの「地域団体」、多文化共生のノウハウを持っている「国際交流協会」や「市民活動団体等」、外国人市民が通学している「教育機関等」、外国人市民が就労している「企業等」など、様々な団体が、それぞれの役割やできることを考え、主体的に行動するとともに、相互に連携・協働を図りながら各種事業に取り組む。



## 平成31年度業務推進イメージ図

交流を通した相互理解・ネットワークづくり など

### 【国際交流】

- ・国際交流員各種事業
- ・ホームステイ事業
- ・ハローフレンド
- ・姉妹都市交流
- ・諸外国との交流
- ・インバウンド観光
- ・経済交流
- など

### 【多文化共生】

- ・多言語化、通訳
- ・相談窓口
- ・日本語学習支援
- ・防災
- ・地域社会への参画
- など

国際感覚の習得、オープンマインド など

### 【国際協力】

- ・海外派遣
- など

外国の現状や異文化の理解 など



# コミュニティセンターを拠点としたまちづくり事業

～ 持続可能な地域づくりを目指して ～

「イベント開催」中心の地域づくりから「サービス提供型」を含む地域づくりへ進化

## 背景

人口減少、高齢社会の進展、市民が求めるニーズや地域課題の多様化に対応するため

【活動拠点】コミュニティセンターへ移行(14館)

【組織体制】コミュニティセンターを活動拠点とした「地区まちづくり協議会」が設立(14協議会)



|                        |           |
|------------------------|-----------|
| ○館長・センター職員及び管理人人件費     | 1億1,800万円 |
| ○コミュニティセンター等管理運営費      | 1億3,400万円 |
| ○袋井西コミュニティセンター整備事業     | 2億 900万円  |
| ○ICTコミュニティ情報発信事業(地方創生) | 600万円     |
| ○特色ある地域づくり推進事業(地方創生)   | 800万円     |
| 合計                     | 4億7,500万円 |



地域の想いや意図を尊重し地域と行政が協働で取り組むきめ細やかな地域づくりの実践  
(イベント型の地域づくりからサービス提供型の地域づくりへの進化)

## 活動支援

### 1 特色ある地域づくり交付金

(1)活動支援分 …… 1,340万円

地区まちづくり協議会の自主的かつ主体的な地域づくり活動を支援するための交付金

(2)地域活動加速化支援分 …… 500万円(地方創生)

①地区まちづくり協議会が、新たに取り組む特色ある地域づくり活動の支援

②H30に実施した活動を発展させる取組を支援

例)ワークショップなどにより地域に必要とされた新たな活動に対し交付

H30実績 …… 8地区まちづくり協議会 16事業(申請額 約475万円)

- ◆ 特色ある地域づくり活動の発展(H30に交付金を活用して実施した8地区まちづくり協議会の活動の発展)  
(活動への参加者を増やす、活動資金の確保(受益者負担)、サービス提供型活動の開始など)
- ◆ 新たな活動への支援

## 担い手確保

### 2 ICTコミュニティ情報発信検証事業(地方創生)

600万円

地区まちづくり協議会の活動を、持続可能とするため、将来の担い手となる30代から50代の現役世代を主なターゲットとし、すべての人が参加しやすい環境を整える。

(1)LINE@を活用したコミセンから住民への情報提供(伝達)

先行実施の4地区(袋井西、三川、浅羽東、浅羽北)を継続・新規にモデル地区を選定

実施期間:1年(4月～3月)

実施内容:コミセンからの情報伝達

利用分析(人数、性別、年代、アンケートなど)

(2)地域版ホームページによる情報発信

地区まちづくり協議会の活動、コミュニティセンターにおける活動をホームページで発信し、活動への参加、コミセンの利用者を増やす。  
(LINE@の連動による相乗効果を図る。)

目標:1館平均300人/年の増

## 活動拠点整備

### 3 袋井西コミュニティセンター整備事業

ふらっと・ふれあい・交流ステーション～笑顔、絆、安心の拠点～

整備費 5億7,200万円(2019～2020:本体工事、電気、機械、外構、解体)

- ① 誰もがふらっと立ち寄れ、気軽にふれあう平屋建て施設
- ② 市民を包み込む懐の大きい軒下空間
- ③ まちに開く3つの「縁(えん)」(とおり縁、まわり縁、たまり縁)



<スケジュール>

| 2018 (H30) |   |    |   | 2019 (H31)     |   |    |   | 2020 |   |    |   | 2021   |   |
|------------|---|----|---|----------------|---|----|---|------|---|----|---|--------|---|
| 4          | 7 | 10 | 1 | 4              | 7 | 10 | 1 | 4    | 7 | 10 | 1 | 4      | 7 |
| 基本・実施設計    |   |    |   | 整備(建築)期間(準備含む) |   |    |   |      |   |    |   |        |   |
|            |   |    |   |                |   |    |   |      |   |    |   | 一部供用開始 |   |
|            |   |    |   |                |   |    |   |      |   |    |   | 全面供用開始 |   |

# ICTを活かしたまちづくり事業 第3次袋井市ICT推進計画・官民データ活用推進計画[2019～2023]スタート 予算額:3,100万円 (一部再掲あり)

## 多様性に富んだスマート社会を実現し、 誰もが豊かさを実感できる未来を創ります

ICTを活用できる人づくり (インクルーシブな社会を担う人材育成)  
ICTでつながる地域づくり (人と地域をつなぐコネクティッドな社会)  
ICTで価値を高める産業づくり (価値を創造するトランスフォームな社会)

### 1 地域がつながるICT ～IoTを活用した地域見守りシステムの構築～

予算額:250万円



地方創生「日本一健康文化都市実現戦略」に基づきスタートしたIoTを活用した地域見守りシステム構築に向けた事業は、今年度で2年目となります。  
子どもをはじめ、高齢者、障がい者が安心して暮らせる社会の実現に向けて、AIやIoTが地域で取り組む見守り活動をサポートします。  
平成30年度は教育部と連携した小学生の見守りについて、平成31年度は、小学生の見守りに加え、総合健康センターと連携した徘徊高齢者への見守りについて試験導入します。

### 2 世界とつながるICT ～Wi-Fiと多言語音声翻訳システムで多文化共生～

JR袋井駅と愛野駅に整備した4か所のWi-Fiアクセスポイントと、3台のキャリアバック型Wi-Fiを活用し、「FUKUROI\_FREE\_Wi-Fi\_Premium」による無料サービスを提供します。

また、Wi-Fi接続時の認証画面を活用した「情報ポータルサイト」は7か国語対応。海外からのゲストはもちろん、外国人市民の皆様にもタウン情報をGETいただけます。



外国人市民が約4,300人、40か国となった今、日本人と外国人が、ともに袋井市民としてまちづくりに取り組むためには、言葉の壁を取り去ることが重要です。

このため、平成30年度に参画した「自治体向け音声翻訳システムに関する研究開発の実証実験」の結果を踏まえ、外国人市民とのコミュニケーションの円滑化を図り市民サービスの向上や多文化共生を推進するため、「多言語音声翻訳システム」の効果的な活用を推進します。

予算額:220万円



### 3 学校とつながるICT ～外国人児童・生徒が日本の学校が好きになる～

予算額:80万円



本市では、外国人や帰国子女など日本語の支援を必要とする児童・生徒が、小学校で204人、中学校で59人(平成30年5月現在)います。  
今後、外国人労働者の増加が見込まれますが、親の事情で日本にきた子どもたちが、日本語の壁にぶつかって、取り残されたり、落ちこぼれたりしないよう、彼らを受け入れる側の姿勢も問われます。

このため、多言語音声翻訳機能を搭載したタブレット端末10台を小中学校に導入し、外国人児童・生徒へのきめ細やかな生活指導や日本語指導の充実、保護者との連絡相談などに努めます。

袋井市は、ICTによって、年齢や性別、障害の有無、国や地域の違いなどの多様性に迎え、ヒト、モノ、コトがつながるスマート社会を実現するため、産学官民の連携と協働をもって、まちづくりに取り組めます。

この取組によって、誰もが豊かさを享受し、新たなネットワークで地域の絆を深め、変革によって産業や地域を活性化することにより「活力と創造で未来を先取る日本一健康文化都市」を実現します。

### 4 授業がわかるICT ～PC教室にタブレット592台を設置～

予算額:2,350万円  
(債務負担:2億1,150万円)

国は、2020年までに小中学校の全生徒にタブレット端末が行き渡るように環境を整備し、タブレットで授業を受けることを推奨しています。

タブレット端末を活用して学習すると、写真や図形を自在に活用しながら課題をまとめることができ、タブレットを見せ合いながらお互いに意見を述べることによって議論も理解も深まることが期待されます。また、教育改革によって、英語教育も強化されることとなりますが、遠隔地にいる外国の方との交流し、ネイティブの英語を学ぶことも可能です。



このため、本市では、ICTを活用したわかる授業を実践するため、まずはパソコン教室のデスクトップ型パソコンをタブレット端末と入れ替えます。



【場所】 全小中学校のパソコン教室に導入  
【台数】 1校37台×16校(全小中学校)=592台(5年リース)  
【活用】 小学校…調べ学習(総合・社会等)、ドリル学習(国算社理)、作文・新聞・プレゼン(国語・総合)、パソコンクラブ  
中学高…調べ学習(総合)、プログラミング(技術)、ドリル(各教科)、部活動

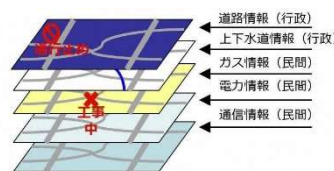
### 5 未来につなげるICT ～「Society 5.0」自動運転からドローンまで～

予算額:200万円

ICTの進化を見据えた先行投資によって、少子高齢化や労働力の不足を解消することが求められています。

このため、「エコパドリームプロジェクト」や「4市1町の道路台帳等オープンデータを活用した事業機会創出に関する調査研究会」など、次世代ICTに関する研究および実証実験に、国、県、近隣市町や企業、大学などと連携し取り組みます。

この取組によって、自動走行技術を活用した効率的な移動サービスをはじめドローンによる買い物支援や物流サービスなど、地域課題の解決に向けて多様なソリューションを提供するとともに、袋井発の新たなサービスの産業化を目指します。



# 10年後の産業発展を見据えた「産業経済懇話会」の意見の反映

【予算額：1億400万円】

## ▶ 主な意見のキーワード

- 【農業】 … ICTなどの活用による生産性向上、稼げる農業(法人化、若者や女性の就農)、農業×観光  
【工業】 … 大学と企業・企業と企業の連携、成長力のあるニーズへ特化  
【商業】 … 集うことに価値、機能の複合化(ショッピングモールや居住・リゾート施設等)、高齢化対応(近隣商店、移動販売等)  
【観光】 … 花火、メロン、遠州三山、ラグビーW杯の活用、観光消費の域内循環、インバウンド対応(Wi-Fi、キャッシュ決済)

稼ぐチカラUP

## ■ 農業振興

### 1 担い手育成支援事業

法人化の推進を目的に、中小企業診断士等の専門家の支援を得ながら担い手育成支援事業に取り組む。

- ◇ 【新】新規就農者・担い手支援施策事業 100万円

### 2 農産物販路拡大事業

稼げる農業とするため、茶・米・メロンの積極的なPRと「観光×農業」の取組を推進する。

- ◇ 【新】大型イベント時の農産物販売出展経費 50万円  
◇ クラウンメロンタクシー2台作成 50万円

### 3 農業農村整備調査事業（県費1/2）

農業の法人化を推進するには経営基盤強化が重要であり、農地の生産性向上を図るため、事業調査を実施する。

- ◇ 【拡】県単独農業農村整備調査費負担金 400万円



## ■ 工業振興

### 1 産学官連携推進事業

袋井市産学官連携推進協議会の取組として、大学と企業の連携や企業交流を推進し、市内企業の新技術や新商品開発に繋がる共同研究や共同開発の促進に取り組む。

- ◇ 地域産業イノベーション推進事業費補助金 450万円

### 2 広域連携による地域産業振興・支援事業

県、西部地域の7市町と連携して、新技術・新製品の開発支援や人材育成等の支援を行う。

- ◇ フォトンバレーセンター共同事業負担金 50万円  
◇ ジェトロ(日本貿易振興機構)負担金 36万円  
◇ 県西部地域産業支援事業運営負担金 47万円



## ■ 商業振興

### 1 中心市街地活性化と個店魅力アップ事業

観光振興と併せた中心市街地の活性化を図るため、駅北市有地活用事業を推進する。地域商業の持続的な振興を図るため、個店の情報発信とファンづくり、イベント開催を支援。

- ◇ 【新】商工会議所建設費補助金(県費1/3程度) 7,500万円(限度額)  
◇ 中心市街地空き店舗対策事業補助金 100万円  
◇ 個店セミナー・個店めぐりスタンプラリー開催事業 123万円  
◇ 商店街等イベント事業補助金 40万円



### 2 キャッシュレス環境整備促進事業

ラグビーW杯等のインバウンド対応と国の消費税対策に対応した環境整備を促進する。

- ◇ クレジット決済導入補助金(袋井商工会議所) 30万円

### 3 創業支援推進事業

地域産業の活力を高めるため、県や金融機関等と連携し、商業やサービス業などの起業や、事業承継との連携の取り組みを推進する。

- ◇ 創業塾・創業セミナー・創業相談業務委託料 110万円



## ■ 観光振興

### 1 静岡デスティネーションキャンペーンを契機とした着地型観光魅力創出事業

県、県内全市町及びJR6社共同により展開される静岡DCを契機とし、袋井ならではの観光資源を磨き上げ、積極的に発信し、誘客と観光消費につなげていく。

- ◇ ふくろい観光ルネッサンス事業負担金 240万円  
◇ 夜の賑わいづくり創出事業補助金 800万円  
◇ 愛野駅デジタルサイネージ活用業務委託料 150万円  
◇ 特産品開発事業補助金 50万円



### 2 インバウンド観光推進事業

ベトナムの旅行会社に常林寺を核とした市内周遊ツアーの実現に向けたセールスを実施。

- ◇ 海外旅行会社へのセールス業務委託料 75万円



袋井駅南地区まちづくり事業

【背景・目的】

～にぎわいとうるおいのある健康的な都市空間の創出～

『にぎわいとうるおいのある健康的な都市空間の創出』を目指し袋井市の顔となる玄関口袋井駅南地区にふさわしい「にぎわい」の充実を図るとともに、「うるおい」のある良好な住環境の形成・“生涯にわたる「健康生活」と歩いて楽しいコンパクトシティ”に向けた整備を進める。

予算額：4億1,650万円

【内訳】袋井駅南都市拠点土地区画整理事業 2億9,920万円  
袋井駅南地区まちづくり事業 1億1,730万円

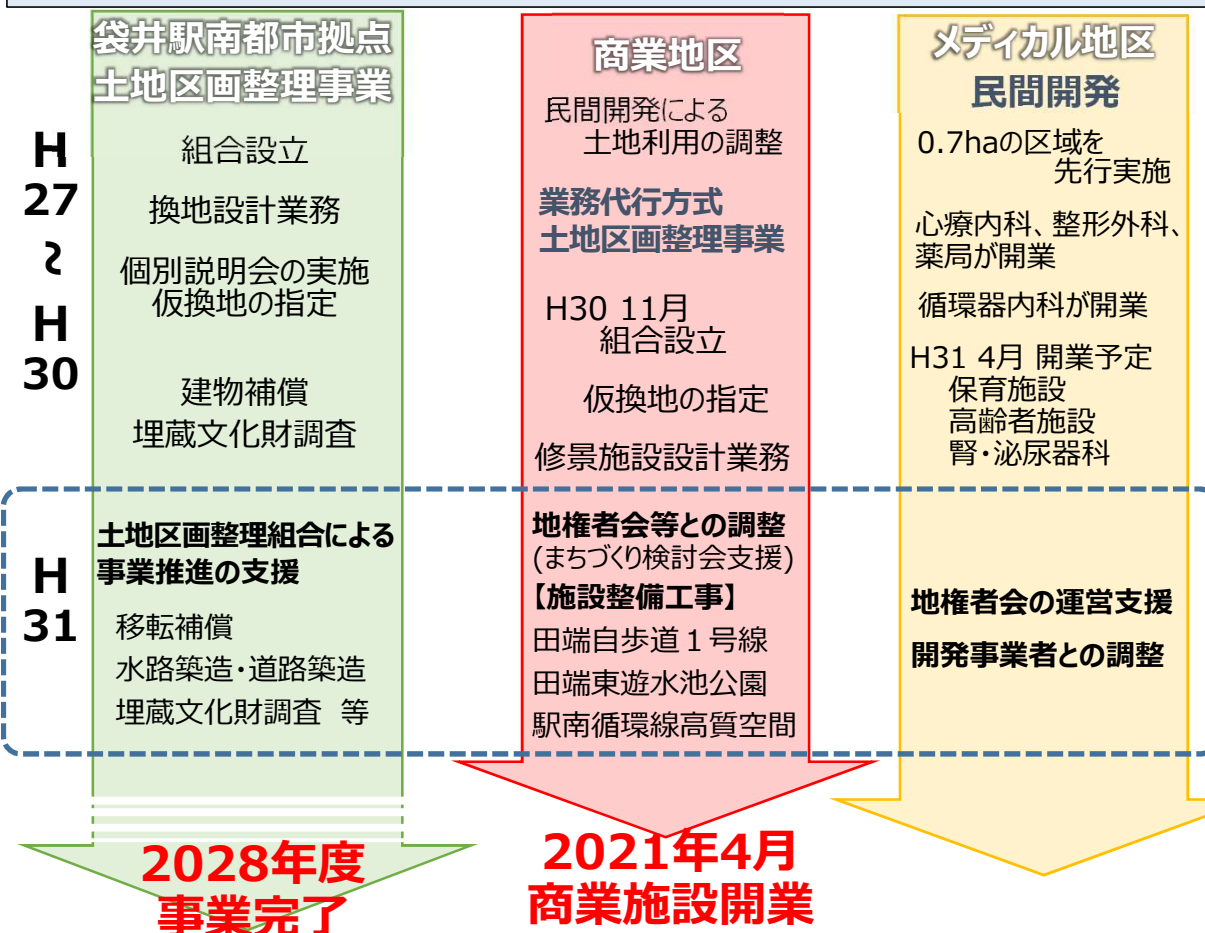
- ◇事業の概要
- 施行面積 A = 8.7ha  
施行期間 平成27年度～2028年度
- 総事業費 5,760,000千円  
道路築造延長 2,584m  
水路・調整池 3,076㎡  
公園整備 2,800㎡
- ◇進捗状況（組合予算）
- H27～H29実績 287,078千円（進捗率 5.0%）  
H30予算 386,450千円（進捗率 11.7%）  
H31予算（案）455,700千円（進捗率 19.6%）



**市の中心核に位置付け（H20.3月 都市計画マスタープラン）**  
袋井駅周辺から市役所周辺に広がる市街地は、文化、商業、業務機能を中心とした、商業購買力や観光交流客が集散し、回遊する多様な都市機能の集積を図り、市の顔となる中心核として位置づける。

**WSによる駅南田端地区整備計画の策定（H20.5月）**  
地域住民が主体となり、「住民に優しく魅力あるまちづくり」を基本目標に掲げ、整備計画を策定するとともに、区域割りの検討を行った。

**袋井駅南地区まちづくり計画の策定（H26.5月）**  
WSにおける検討結果や都市計画マスタープランでの基本方針に基づき、袋井駅から商業地区まで一体性のある土地利用事業の推進を図り、市の顔としてにぎわいとうるおいのあるまちづくりを推進する。

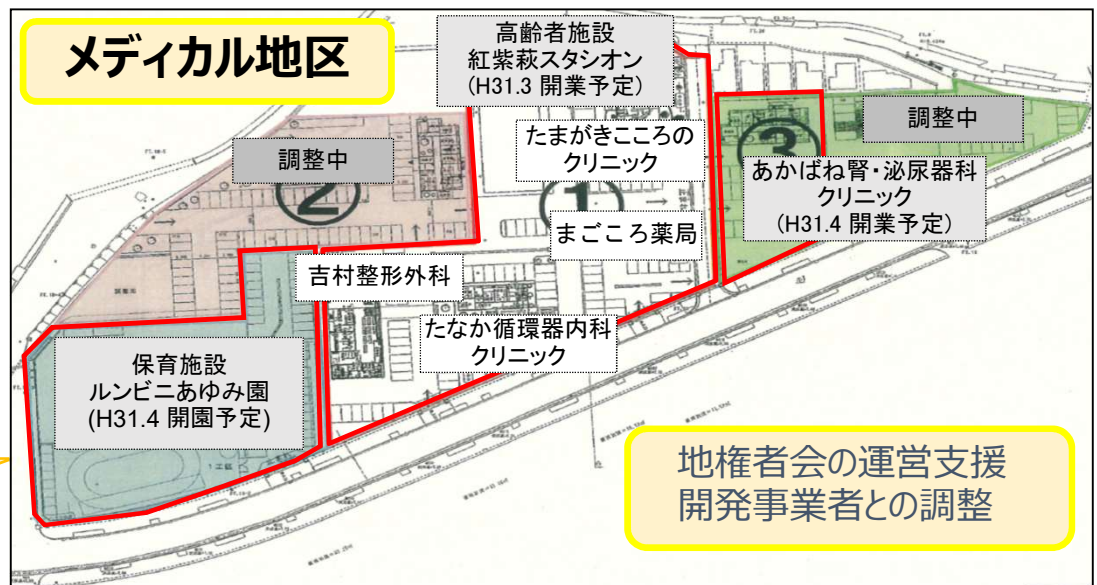
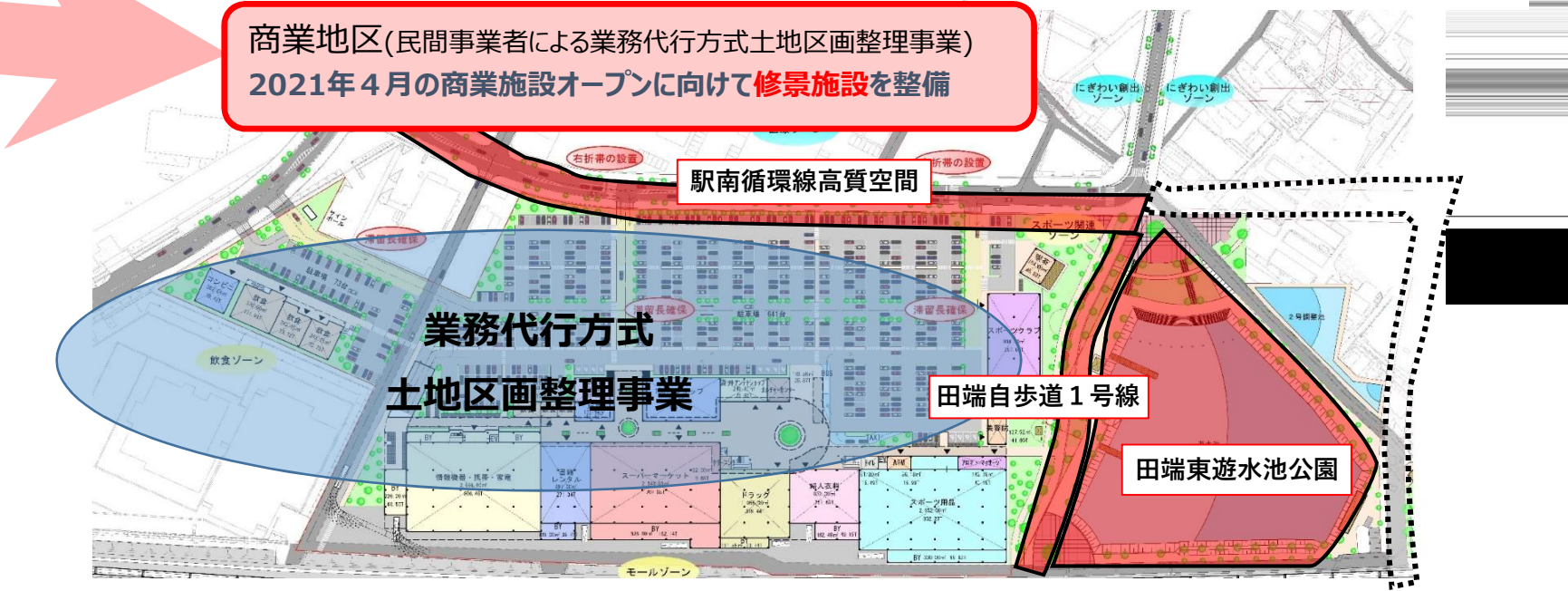


袋井駅南都市拠点土地区画整理事業  
土地区画整理組合による事業推進を支援

【平成31年度 実施内容】  
（幹線道路周辺など）  
・移転補償  
・埋蔵文化財調査  
・公共施設（道路・水路）整備

商業地区の事業進捗に  
合わせた道路整備が急務

商業地区（民間事業者による業務代行方式土地区画整理事業）  
2021年4月の商業施設オープンに向けて修景施設を整備



| 袋井駅南地区まちづくり事業<br>平成31年度 事業費（千円） |        |
|---------------------------------|--------|
| 工事請負費                           |        |
| 田端自歩道1号線                        | 20,000 |
| 田端東遊水池公園                        | 50,000 |
| 駅南循環線高質空間                       | 37,000 |
| 負担金                             |        |
| 田端自歩道1号線 公管金                    | 10,000 |
| 手数料                             |        |
| まちづくり検討会技術支援                    | 300    |

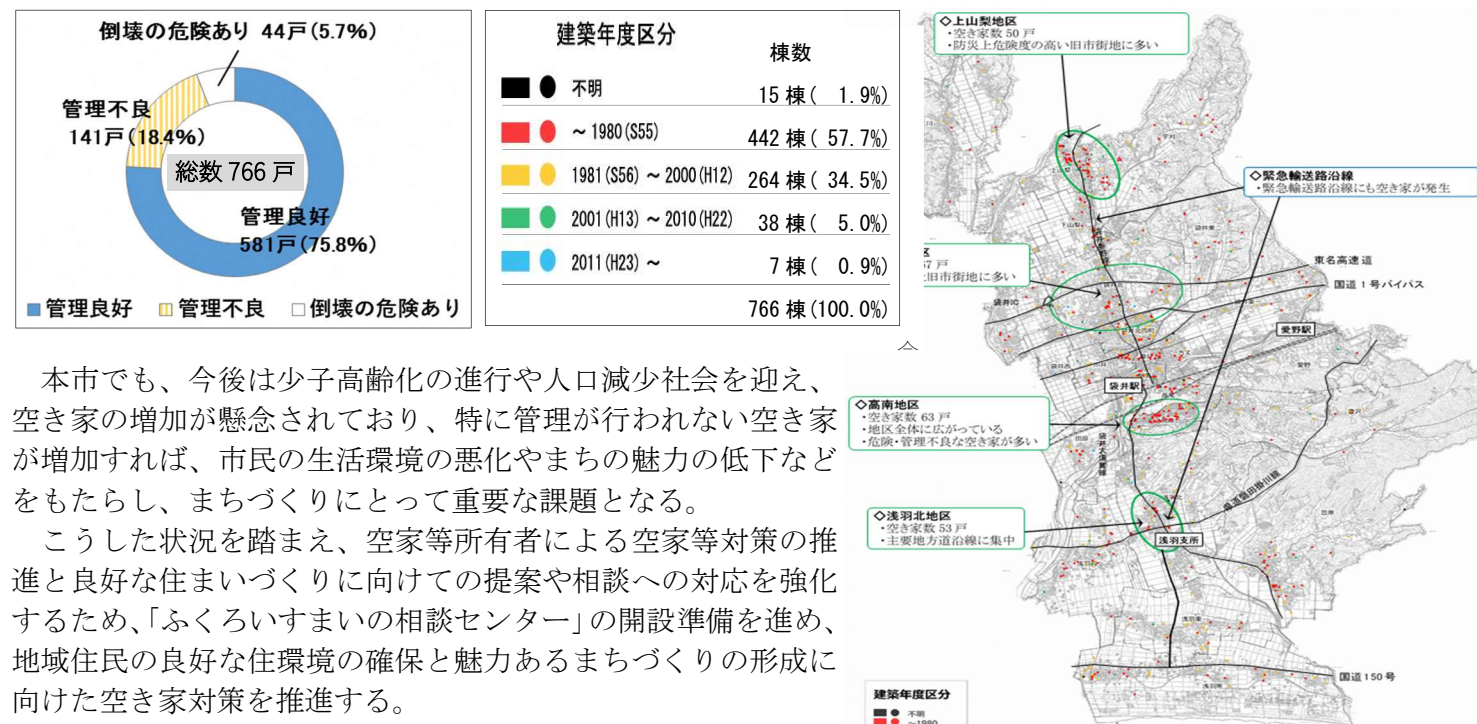
# 空き家対策事業「ふくろいすまいの相談センター」を開設します！！

～“すまいのなんでも相談”と“空き家に関する相談（利活用・除却・相続や税金などの相談）”～

予算額：500 万円  
※嘱託職員等 2 名の人件費、空き家等対策協議会の開催や  
空き家等対策推進パンフレット作成に係る費用

## 1 空き家等を取り巻く環境

### （１）本市における空き家等の発生状況（平成 27 年度に自治会単位で袋井市空き家分布調査を実施）



本市でも、今後は少子高齢化の進行や人口減少社会を迎え、空き家の増加が懸念されており、特に管理が行われない空き家が増加すれば、市民の生活環境の悪化やまちの魅力の低下などをもたらし、まちづくりにとって重要な課題となる。

こうした状況を踏まえ、空き家等所有者による空き家等対策の推進と良好な住まいづくりに向けての提案や相談への対応を強化するため、「ふくろいすまいの相談センター」の開設準備を進め、地域住民の良好な住環境の確保と魅力あるまちづくりの形成に向けた空き家対策を推進する。

## 3 主な推進施策【本市独自の支援事業の創設】（2020 年 4 月～）

### ◇三世代同居・近居のための住宅取得の促進（空き家等を活用し近居・同居のための改築等を行う場合の支援制度） 近居・同居のための空き家の有効活用、UIJ ターンによる移住、居住誘導区域内への誘導促進など



### ◇地域・大学・地域活動団体の連携による空き家等の利活用



### ◇農地付き空き家等を活かした移住・定住促進

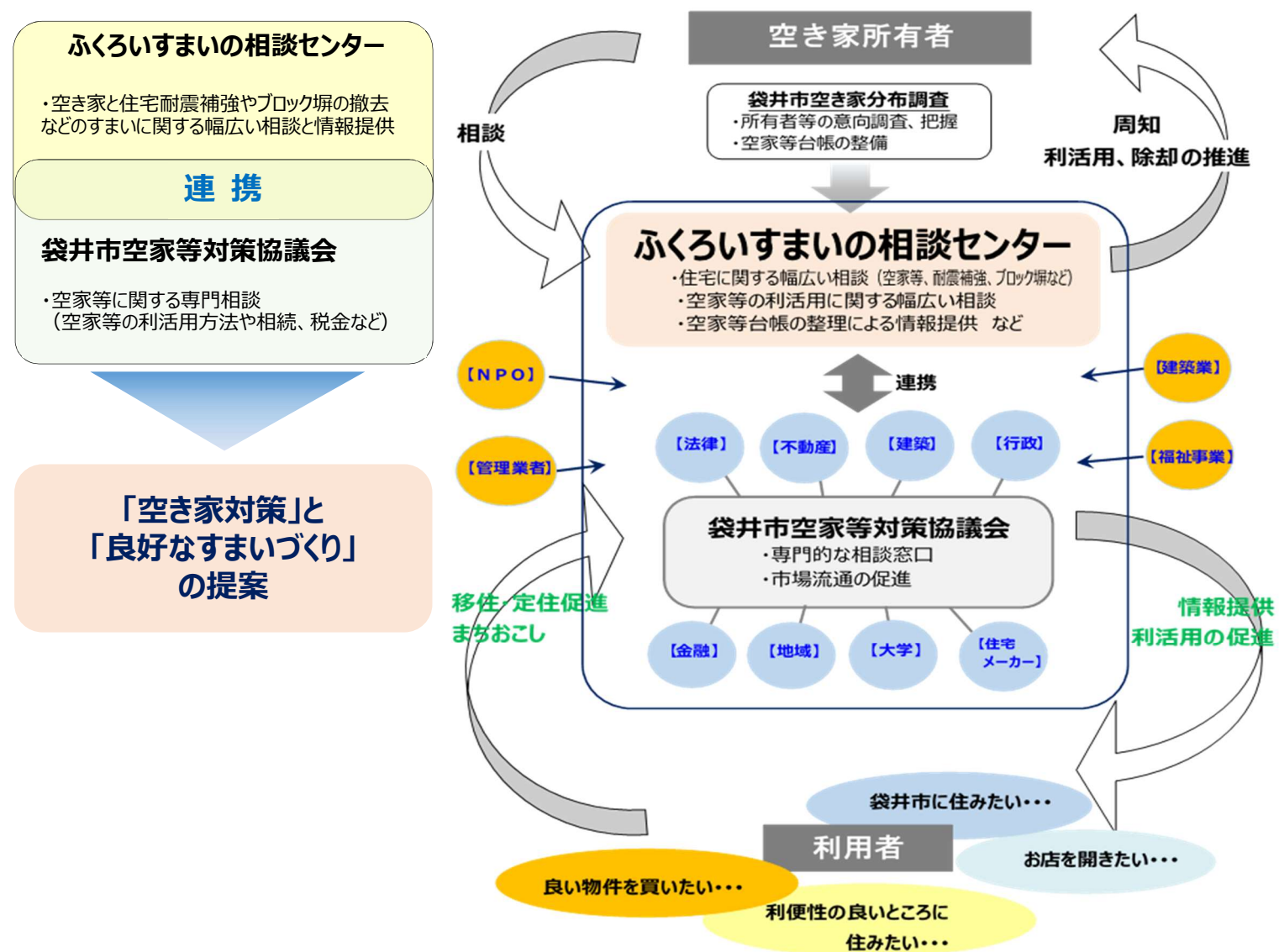


## 2 「ふくろいすまいの相談センター」の開設による空き家対策の推進

### （１）ふくろいすまいの相談センターの役割

すまいの相談センターでは、有識者で組織する空き家等対策協議会と連携を図り、空き家等に関する身近な相談から専門的な相談、また住宅政策全般に関わる相談まで、幅広い相談体制を備え、良好なすまいづくりに向けての提案を行うなど、効果的に施策の推進を図ります。

### 「ふくろいすまいの相談センター」のイメージ



### （２）開設までのスケジュール

2019 年 4 月～ 開設に向けての準備室設置  
2020 年 1 月～ 開設

### （３）今後の空き家対策の推進

◇「ふくろいすまいの相談センター」の開設  
※センター利用者の利便性向上やまちづくり事業の推進にあたり、より最適な場所での設置に向けて検討  
◇宅建協会や司法書士会との協定締結などによる相談体制の強化

# 袋井消防庁舎・袋井市防災センター整備事業

## 整備の目的

- ① 国本地区に袋井消防庁舎及び袋井市防災センターの合同庁舎として建設し、消防・市・消防団の連携強化を図り、様々な災害に対応する消防防災拠点施設として整備する。
- ② 火災、救急、救助、化学災害など、複雑多様化する災害への対応能力の向上を図る。また予想される南海トラフ巨大地震や水害への対策として、施設、車両、装備及び資機材等の消防防災力を確保し、災害対応態勢の確立を図る。
- ③ 防火・防災教育訓練施設を整備し、住民の自助・共助意識の向上を図る。



※イメージ図(南側から庁舎を望む)

## 事業の現状

地域の安心・安全を守るため、消防防災拠点施設となる袋井消防庁舎と、常設の災害対策本部室を備えた袋井市防災センター整備については、2017年度に敷地の造成工事を完了し、2018年6月、建築工事に着手した。現在、杭工事が完了し、基礎工事を行っている。

建築工事は2020年1月に竣工し、その後、情報機器の移設工事や備品等の設置等を行い、2020年4月の開署を目指す。

### 新しい庁舎が完成すると・・・

- ◆ 消防・市・消防団の災害対策本部が同じフロアに設置され、相互の連携による迅速な災害対応により、被害の軽減に繋がる。
- ◆ 平常時のドクターヘリによる救命率の向上や、自衛隊ヘリコプターも離発着可能な屋上ヘリポートが設置されるため、災害時における迅速な人員派遣が期待できる。
- ◆ 新しい訓練塔は、自主防災隊や消防団による消火訓練ができ、地域の消防力の向上に繋がる。
- ◆ 市の中央部に消防署が設置され、市東側エリアへの緊急車両の現場到着時間が短縮し、被害の軽減に繋がる。

平成31年度予算額 15億9,660万円(組合分)  
7億3,800万円(市分)

(※市から広域行政組合への負担金6億840万円を含む)

全体事業費 39.1億円  
(うち組合負担額25.6億円、袋井市負担額13.5億円)

## 施設概要

◆建設地 袋井市国本地区(市役所北東200m付近)

◆敷地面積 8,191.32㎡

◆建物規模

| 建物       | 延べ床面積    | 階数 | 構造            |
|----------|----------|----|---------------|
| 本庁舎棟     | 5296.07㎡ | 4階 | 鉄筋コンクリート造(免震) |
| 車庫・備蓄倉庫棟 | 293.60㎡  | 1階 | 鉄骨造(耐震)       |
| 総合訓練塔    | 324.00㎡  | 4階 | 鉄筋コンクリート造(耐震) |
| 消防訓練塔    | 192.00㎡  | 4階 | 鉄筋コンクリート造(耐震) |

◆その他施設

消防施設(組合): 緊急消防援助隊受援地、自家給油設備、訓練用雨水貯留槽など

防災施設(市): ヘリポート、耐震性貯水槽など

工事状況(2019年1月現在)



## 整備スケジュール

|                | 2019年 |   |    |    | 2020年 |      |      |   |   |
|----------------|-------|---|----|----|-------|------|------|---|---|
|                | 6     | 9 | 10 | 12 | 1     | 2    | 3    | 4 | 5 |
| 建築工事           | ●検査   |   |    |    | ●竣工   | ●落成式 |      |   |   |
| 情報機器移設<br>開署準備 |       |   |    |    |       |      |      |   |   |
| 開 署            |       |   |    |    |       |      | ●内覧会 | → |   |